

一関市長定例記者会見

日時：令和6年10月21日（月）

午前11時から正午まで

場所：特別会議室

○市長発表事項

- ・令和6年度市勢功労者表彰について
- ・和歌山県新宮市との災害時相互応援に関する協定および和歌山県田辺市、新宮市とのふるさと納税による災害支援金代理受領に関する覚書の締結について

○その他

令和6年度市勢功労者表彰について

令和6年度の市勢功労者として4人の表彰を決定しました。

1 被表彰者

区分	氏名	年齢	住所	主な功績
産業功労	ちば ひでこ 千葉 秀子	83	川崎町 薄衣	農家レストランの代表として、長年にわたり郷土の食文化「カニぱっと」の伝承活動に尽力され、市の産業振興に多大な貢献をされた。
教育文化 功労	さとう しゅうぞう 佐藤 修藏	80	千厩町 千厩	一般社団法人一関市体育協会会長として、スポーツの振興と発展に多大な貢献をされた。
産業功労	すとう やしまさ 須藤 彌志正	79	一関	一関市北上川治水地権者会会長として、一関遊水地事業の促進に多大な貢献をされた。
産業功労	さとう こういち 佐藤 鉦一	75	藤沢町 徳田	いわて平泉農業協同組合代表理事組合長として、地域農業の発展に多大な貢献をされた。

敬称略、年齢順

年齢は令和6年11月3日現在

2 表彰式

- (1) 日時 11月3日(日・祝) 午前11時～正午
(2) 会場 ベリーノホテル一関(一関市山目字三反田179)

問い合わせ先 一関市役所
〒021-8501 岩手県一関市竹山町7番2号
市長公室秘書課長 大内
電話:(0191)21-2111(内線8172) FAX:(0191)21-2110
メールアドレス: hisyo@city.ichinoseki.iwate.jp

一関市川崎町薄衣字上巻 121 番地

ち ば ひで こ
千 葉 秀 子

昭和 16 年 1 月 13 日 (83 歳)

事績の概要

農家レストランの代表として、長年にわたり郷土の食文化「カニばつと」の伝承活動に尽力され、市の産業振興に多大な貢献をされた。

郷土料理の研究や伝承活動に取り組み、北上川で捕れたモクズガニから出汁を取り、はつとと旬の野菜を煮込んだ「カニばつと」について独自の研究を重ね、平成 8 年にオリジナルの「カニばつと」を作り、同年に岩手県「食の匠」に認定された。

イベントで「カニばつと」の実演をしたところ好評であったが、「カニばつと」を提供する飲食店が当時なかったことから、自宅を改装し、平成 11 年 4 月に農家レストランぬくもりを開業された。「カニばつと」の味の改良、真空冷凍保存技術の導入などで事業拡大を進め、地域のレストランとして定着。技術、知識の継承と後継者、地域の方が安心して働くことができる環境整備のために、平成 27 年 3 月、合同会社農家レストランぬくもりを設立され、少量多品目をモットーにおにぎり、おこわ、大福、餅、はつと、惣菜、カニスープ等の農産加工品を製造、販売し、販売先である道の駅かわさきの品揃えに貢献している。

また、平成 19 年から平成 30 年まで 6 期 12 年間、川崎生活研究グループ協議会会長として、食の技や郷土食の伝承、農村女性活動の推進に尽力された。

長年にわたり郷土の食文化の伝承活動に携わり、一関市の産業振興に貢献されてきた功績は誠に大きい。

さ　　とう　　しゅう　　ぞう
佐　　藤　　修　　藏

昭和 19 年 1 月 8 日 (80 歳)

事績の概要

一般社団法人一関市体育協会会長として、スポーツの振興と発展に多大な貢献をされた。

平成 30 年 5 月から現在まで一般社団法人一関市体育協会会長を務め、一関市のスポーツ推進計画の基本理念に掲げている「誰もがスポーツを楽しみ 健康でいきいきとした生活の実現」を目指し、市民一人ひとりがスポーツを日常の生活に取り入れ、地域と関わりを持ちながらいきいきとした毎日を送る、明るく活力に満ちたまちづくりに尽力されている。

市民の誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことができるよう、市内のスポーツ活動の活性化に積極的に取り組まれ、平成 30 年から、参加型のスポーツイベント「みんなのスポーツフェスタ」を毎年開催するなど、性別や年齢、障がいの有無にかかわらず誰もが楽しむことのできるスポーツイベントの実施にも力を入れ、スポーツ振興、市民の健康増進に貢献をされている。

また、平成 22 年 5 月から、岩手県東磐井地区交通安全協会千厩分会長として、小中学校等への交通安全用品の寄贈、交通安全講話の実施などの活動に尽力され、平成 27 年 4 月からは岩手県東磐井地区交通安全協会会長として、関係機関と連携するとともに、同交通安全協会管内の 22 の分会と共に、地域の交通安全運動の推進に尽力されている。

スポーツ振興、交通安全など、多方面にわたって指導的役割を務められ、市勢の発展に貢献されてきた功績は誠に大きい。

一関市字久保 35 番地

す とう や し ま さ
須 藤 彌志正

昭和 19 年 12 月 3 日 (79 歳)

事績の概要

一関市北上川治水地権者会会長として、一関遊水地事業の促進に多大な貢献をされた。

平成 27 年 6 月に一関市北上川治水地権者会会長に就任され、令和 6 年 3 月の同地権者会解散まで 8 年 10 か月の長きにわたり会長を務められた。この間、水害から市民の生命、財産、地域の経済活動を守るため、一関遊水地事業の早期完了の重要性を各般に説き、事業の推進に尽力された。

国や国会議員への治水事業の要望活動においては、地権者会の代表として直接赴き、事業促進の声を届けることに積極的に取り組まれた。

一関遊水地事業は、昭和 47 年の事業開始から半世紀余りが経過し、水門、小堤などの施設がほぼ完成し運用開始が近づいている。事業が終盤を迎える中で、令和 2 年度から始まった 1,800 件を超える地役権補償契約においては、会長として強いリーダーシップを発揮され、令和 5 年度には地権者会会員の契約締結が概ね完了するに至った。

地役権補償契約を進めるにあたり、補償に関する各種勉強会の開催や国土交通省との土地価格に関する協議等様々な活動を精力的に行うなど、関係地権者と国とのパイプ役として一関遊水地事業の促進に尽力された。

一関遊水地事業の促進において重要な位置を占める地権者会を精力的に牽引し、長年にわたり同事業の促進に貢献されてきた功績は誠に大きい。

事績の概要

いわて平泉農業協同組合代表理事組合長として、地域農業の発展に多大な貢献をされた。

平成 22 年 5 月から平成 26 年 2 月までいわい東農業協同組合代表理事専務を務められ、平成 26 年 3 月、岩手南農業協同組合といわい東農業協同組合が合併し、いわて平泉農業協同組合が設立された後は、平成 27 年 5 月まで同組合常務理事、同年 5 月から令和 6 年 5 月まで 3 期 9 年間、同組合代表理事組合長を務められ、組合員農家の所得向上を基本に農家経営の安定及び農業協同組合経営の健全化に尽力された。

特に、農業者の高齢化や後継者不足が叫ばれる中、責任ある産地づくりに向けた独自の取組として、いわて平泉農業協同組合設立初年度から展開した「黄金の郷づくり推進対策事業」において、地域農業を担う集落営農組織や、意欲のある農業者の支援に積極的に取り組まれるなど、新規就農者の確保や農業者の経営規模拡大に尽力され、農家所得の増大及び地域農業の振興に大きく貢献された。

また、岩手県農業協同組合中央会の理事、代表監事、全国農業協同組合連合会岩手県本部運営委員会委員を歴任するなど、農業の振興に寄与された。

農業協同組合の経営基盤の確立及び農家組合員の生産意欲の向上と農家経営の安定に尽力され、地域農業の発展に貢献されてきた功績は誠に大きい。

一関市市勢功労者名簿

※()内は受賞時年齢、敬称略

平成 22 年度〔16 名〕

浅井 東兵衛 (83)	【自治功労】	一関	男
坂本 紀夫 (69)	【自治功労】	一関	男
佐藤 正勝 (66)	【自治功労】	一関	男
田野崎 捷吾 (72)	【自治功労】	花泉	男
小原 伸元 (75)	【自治功労】	大東	男
菊地 宏雄 (67)	【自治功労】	千厩	男
松川 誠 (75)	【自治功労】	東山	男
佐藤 久耕 (69)	【自治功労】	東山	男
小山 寛 (75)	【自治功労】	室根	男
千葉 莊 (61)	【自治功労】	川崎	男
佐々木 時雄 (70)	【自治功労】	一関	男
伊藤 力 (78)	【自治功労】	川崎	男
佐藤 拓郎 (78)	【教育文化功労】	一関	男
(故)北村 健郎(享年 69)	【教育文化功労】	千厩	男
須田 利治 (74)	【産業功労】	一関	男
八島 松四郎 (81)	【民生功労】	一関	男

平成 23 年度〔3 名〕

千葉 政吾 (79)	【教育文化功労】	大東	男
大畑 孝夫 (74)	【教育文化功労】	一関	男
懸田 等 (74)	【産業功労】	大東	男

平成 24 年度〔3 名〕

田島 英一 (86)	【教育文化功労】	一関	男
杉内 巖 (83)	【教育文化功労】	一関	男
田嶋 徳穂 (78)	【民生功労】	一関	男

平成 25 年度〔5 名〕

畠山 博 (65)	【自治功労】	藤沢	男
佐藤 誠之 (79)	【教育文化功労】	花泉	男
小野寺 妙子 (82)	【教育文化功労】	花泉	女
宇部 貞宏 (76)	【産業功労】	一関	男
佐藤 勲 (69)	【産業功労】	一関	男

平成 26 年度〔7名〕

西城 健 (78)	【教育文化功労】	一関	男
佐原 得司 (84)	【産業功労】	一関	男
佐藤 鐵治 (83)	【産業功労】	東山	男
小岩 丈郎 (76)	【産業功労】	一関	男
大澤 弘毅 (78)	【民生功労】	一関	男
千葉 弘記 (78)	【民生功労】	一関	男
似内 一雄 (75)	【民生功労】	一関	男

平成 27 年度〔9名〕

阿部 睦 (83)	【自治功労】	一関	男
小野寺 興輝 (73)	【自治功労】	東山	男
藤野 宣子 (83)	【教育文化功労】	千厩	女
杉内 愛 (79)	【教育文化功労】	一関	女
阿部 興紀 (76)	【教育文化功労】	一関	男
鈴木 昭男 (81)	【産業功労】	東山	男
鈴木 長壽 (79)	【産業功労】	一関	男
鈴木 英一 (73)	【産業功労】	東山	男
阿部 弘子 (78)	【民生功労】	一関	女

平成 28 年度〔6名〕

小山 謂三 (79)	【自治功労】	室根	男
芦 文八郎 (96)	【教育文化功労】	大東	男
後藤 健 (81)	【教育文化功労】	花泉	男
梁川 昭祐 (76)	【教育文化功労】	一関	男
木村 力夫 (76)	【教育文化功労】	一関	男
白澤 剛一 (77)	【産業功労】	一関	男

平成 29 年度〔3名〕

及川 和男 (84)	【教育文化功労】	一関	男
小原 美樹夫 (77)	【教育文化功労】	大東	男
菅原 正二 (75)	【教育文化功労】	一関	男

平成 30 年度〔5名〕

大森 忠雄 (81)	【消防功労】	一関	男
佐山 昭助 (77)	【教育文化功労】	大東	男
鈴木 功 (74)	【教育文化功労】	大東	男
伊藤 達朗 (77)	【産業功労】	一関	男
岩 渕 一美 (71)	【産業功労】	一関	男

令和元年度〔4名〕

小野寺 荅 (87)	【教育文化功労】	一関	女
入間田 宣夫 (77)	【教育文化功労】	仙台市	男
本 多 洋 之 (75)	【教育文化功労】	一関	男
千 葉 繁 美 (83)	【産業功労】	室根	男

令和2年度〔4名〕

小 梨 浩 子 (89)	【教育文化功労】	一関	女
蓬 田 稔 (88)	【教育文化功労】	一関	男
小 嶋 喜久子 (88)	【教育文化功労】	一関	女
白 石 惠 一 (75)	【教育文化功労】	千厩	男

令和3年度〔3名〕

佐 藤 義 光 (85)	【産業功労】	一関	男
菅 原 啓 祐 (82)	【自治功労】	一関	男
佐 藤 暁 僖 (80)	【産業功労】	一関	男

令和4年度〔4名、1グループ〕

勝 部 修 (72)	【自治功労】	一関	男
槻 山 隆 (70)	【自治功労】	一関	男
伊 藤 公 夫 (79)	【産業功労】	東山	男
藤 堂 隆 則 (76)	【教育文化功労】	花泉	男
N. S. P (―)	【教育文化功労】	一関	男

令和5年度〔4名〕

昆 野 洋 子 (81)	【産業功労】	千厩	女
三 浦 幹 夫 (77)	【民生功労】	室根	男
伊 藤 稔 (74)	【教育文化功労】	東山	男
海 野 正 之 (76)	【産業功労】	川崎	男

和歌山県新宮市との災害時相互応援に関する協定および和歌山県田辺市、新宮市とのふるさと納税による災害支援金代理受領に関する覚書の締結について

○ 岩手県一関市・和歌山県新宮市 災害時相互応援に関する協定締結式

日時：10月25日（金） 午後4時

場所：本庁3階特別会議室

出席者：一関市長

新宮市長 田岡実千年（たおか みちとし）

○ 災害支援金代理受領に関する覚書締結式

日時：10月25日（金） 午後4時30分

場所：本庁3階特別会議室

出席者：一関市長

田辺市副市長 木村晃和（きむら てるまさ）

新宮市長 田岡実千年

○ その他

- ・ 室根神社の歴史的な由縁により、本市と田辺市とは姉妹都市提携、新宮市とは友好都市提携が結ばれています。
- ・ 和歌山県新宮市との協定締結により、本市は姉妹都市・友好都市提携している国内すべての自治体と災害時相互応援に関する協定を締結することになります。
- ・ ふるさと納税による災害支援金代理受領にかかる取り組みは本市では初めての取り組みとなります。

問い合わせ先

〒021-8501 岩手県一関市竹山町7番2号

まちづくり推進部 交流推進課 上野

電話：(0191)21-8871（ダイヤル） FAX：(0191)23-4850

メールアドレス：koryu@city.ichinoseki.iwate.jp